

第 2 4 回秋田県特別支援学校総合体育大会

「バスケットボール競技」実施要項

- 1 日 時 令和 7 年 9 月 1 2 日 (金) 1 0 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
- 2 会 場 県立中央公園 アリーナ A・B・C
- 3 監督会議 1 0 : 1 0 より競技本部前で実施する。
- 4 競技規則 2 0 2 5 日本バスケットボール競技規則によるほか、この要項の定めるところによる。

5 競技方法

(1) 競技形式

- ・試合は男女別トーナメント方式で行う。3 位決定戦は行わない。
- ・組み合わせは、7 月 4 日 (金) に抽選の上、決定する。なお、前年度優勝チームは第 1 シード、準優勝チームは第 2 シードとする。

(2) チーム編成

- ・男女ともに、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーが各 1 名と選手で編成する。
- ・女子選手は男子の部に出場できるが、男子選手は女子の部に出場できない。

(3) 服装・ベンチ

- ・出場チームはユニフォームを着用する。背番号は、「0」、「00」、「1」から「99」までの番号を使用し、審判とスコアラーに分かるように付けること。
- ・原則として、組合せ番号の若いチームが淡色(白色)を着用し、テーブルオフィシャル(以下：TO)に向かって右側のベンチを使用すること。
- ・2 試合目以降は、両チームの協議により、ユニフォームの色を変更できる。
- ・ユニフォームの色が類似している場合、大会本部が準備するビブス(黄又は黒)を TO の指示に従って着用すること。
- ・ユニフォームパンツの膝丈の長さに関しては、現行ルールを適用しない。

(4) 試合の進め方 ※ 2 0 2 5 日本バスケットボール競技規則と異なる点

項目	男子	女子
競技時間	4 分を 4 回行うクォーター制。ハーフタイムに 2 分、それ以外は 1 分の休憩が入る。	3 分を 4 回行うクォーター制。ハーフタイムに 2 分、それ以外は 1 分の休憩が入る。
試合球	日本バスケットボール協会検定球とし、男子は 7 号球、女子は 6 号球を使用する。	
タイムアウト	前後半 1 回ずつ認める。1 回の時間を 6 0 秒とする。	
ファウル	個人ファウルは 4 回で退場。チームファウルは、4 回目から相手側にフリースローが与えられる。	
同点と延長	試合終了時に同点の場合、2 分間の延長戦を行う。タイムアウトは認めない。延長を行っても勝敗がつかない場合、1 分間の休憩後、延長戦を繰り返し行う。	

(5) その他

- ・ベンチには、必要に応じて介助者を置ける。ただし、その任務を逸脱した場合、テクニカルファウルになる。
- ・インターバルやタイムアウト後の再スタートを速やかに行うこと。
- ・試合が早く終了した場合でも、予定時刻どおりに試合を開始する。試合が長引いた場合は、次の開始まで 5 分間のインターバルを確保する。
- ・試合直前のウォーミングアップは、自ベンチ側のコートを使用する。